

梶田先生と振り返る思い出の一コマ

Vol.19

1982(昭和57)年、自治会と商店会を中心に花いっぱい運動が始まりました。きっかけは、日本各地、世界各国から訪れる日本スリーデーマーチの参加者を花で歓迎するためでした。翌年には花いっぱい推進員を委嘱し、運動のリーダーとして地域の活動を推進してきました。花いっぱい運動開始から40年となる現在「花いっぱい」はウォーキングとともに市の重要なアイデンティティを形成しています。

1985(昭和60)年から自治会、小・中学校、事業所を対象とした「花いっぱいコンクール」が開催されたよ。



2017(平成29)年には、自治会における長年の「花いっぱい」活動が地域づくりに貢献したとして「総務大臣表彰」を受賞したよ。

花いっばいでまちづくり

1982(昭和57)年



キャラクター紹介

市内の小・中学生に配布された学習漫画「漫画でわかる 梶田隆章先生とニュートリノ」のキャラクターたちです。

ニュートリノ三兄弟



エちゃん ミューやん タウっち

梨花(姉)



歩(弟)



梶田隆章先生



東松山市生まれ。東京大学宇宙線研究所教授。1998年にニュートリノ振動の発見を発表。2015年にノーベル物理学賞を受賞。



しがほつやま
キッズ集合!

おしえて『文化財』

すずつぎうでわ
鈴付腕輪

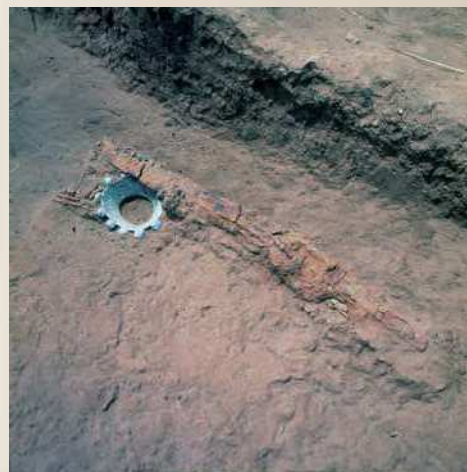
貝殻で作られた腕輪(貝輪)に似せた輪に多数の鈴を付けた大型の青銅製の腕輪で、この形の腕輪は全国で9例しか出土していません。

約1500年前に築造されたと考えられる諏訪山1号墳には粘土で作られた2つの埋葬施設があり、鈴付腕輪はそのうちの2号塚から出土しました。内側を表にし、やや傾いた状態で、大刀とともに出土しています。出土状況から、被葬者の左腕にこの腕輪がつけられていたと推測され、遺骸は時と共に分解されてなくなりましたが、腕輪だけが元の位置を留めたまま残ったものと考えられています。

この腕輪には12個の鈴が付いており(1個は発見当時すでに失われていた)、中には小石が入れられているため、振ると鈍い音色で響きます。



上面・正面・側面



出土状況

問
埋蔵文化財センター
TEL 27-103333 FAX 27-10334